

# 丸山幸彦先生年譜・著作目録

## 略年譜

- 一九三九年二月 東京に生まれる  
一九五七年三月 長野県立大町南高等学校卒業  
一九六二年三月 京都大学文学部史学科国史学専攻卒業

一九六四年三月 同大学大学院文学研究科修士課程

修了

一九六七年三月 同大学大学院文学研究科博士課程

単位取得退学

二〇〇二年一月 京都大学博士（文学）

## 職歴

- 一九六七年四月 徳島大学教育学部講師  
一九八六年四月 同大学総合科学部教授

- 一九九一年四月 同大学総合科学部長  
一九九九年四月 同大学共通教育センター長  
二〇〇二年三月 同大学退職  
二〇〇二年四月 奈良大学文学部教授  
二〇〇三年四月 同大学文学研究科科长  
二〇〇九年三月 同大学退職

## 社会における活動等

- 一九八九年～現在 徳島県文化財保護審議会委員  
二〇〇七年～現在 同審議会会長  
一九八九～二〇〇三年 徳島市文化財保護審議会委員  
一九九二～九三年 国立歴史民俗博物館資料調査委員  
一九九八～二〇〇八年 徳島市立考古資料館資料展示検討委員会委員長  
一九九八～二〇〇〇年 徳島県歴史の道調査委員会委員長

一九九八年～現在

阿波国分尼寺史跡整備策定委員会

委員

一九九九年

新潟大学教養教育外部評価委員会

委員

二〇〇〇～〇一年

大学基準協会・相互評価委員会文

学系専門評価分科会委員

二〇〇〇年

神戸大学発達科学部外部評価委員

会委員長

### 著書

『古代東大寺庄園の研究』 溪水社、二〇〇一年

### 共著

『公武権力の対抗』 「南北朝内乱」

永原慶二編 『日本史を学ぶ2・中世』 有斐閣、一九

七七年

『東大寺領庄園の変遷』

八木充編 『古代の地方史2・山陽山陰南海編』 朝倉

書店、一九七七年

『瀬戸内型の庄園』

八木・稻田編 『新版・古代の日本 第四卷 中国四

国』 角川書店、一九九二年

『カイフ（海部）とソラ（空）の世界』 「都に上がった地方

豪族の娘』 「低湿地の庄、新島庄」

三好・高橋編 『図説徳島県の歴史』 河出書房新社、

一九九四年

『阿波国』 「讃岐国」 項

国立歴史民俗博物館編 『日本荘園データ』、一九九

五年

『徳島県の地名（日本歴史地名大系37）』 （古代の部）

平凡社、二〇〇〇年

『阿波国』 項

稲垣・石井・永原編 『講座日本荘園史10 四国・九

州地方の荘園』 吉川弘文館、二〇〇五年

『阿波国』 項

加藤・関等編 『日本古代史地名辞典』 雄山閣、二〇

〇七年

## 論文

「庄園領主的支配の構造と変質―鎌倉末期近江国葛川の村落―」

『日本史研究』七四号、一九六四年

「鎌倉末期の領主と農民」

『日本史研究』八三号、一九六六年

「九世紀における大土地所有の展開―とくに山林原野をめぐる―」

『史林』第五〇巻四号、一九六七年

「庄園と共同体―初期庄園の崩壊をめぐる―」

『徳島大学学芸紀要（社会科学）』一七巻、一九六八年

「庄園村落における惣有田について」

『日本史研究会史料研究部会編』『中世の権力と民衆』

創元社、一九七〇年

「官省符と基準国図」

『小葉田淳教授退官記念国史論集』京大國史研究室、

一九七〇年

「中世後期庄園村落の構造―今堀郷における村落共有田の

形成を中心に―」

『日本史研究』一一六号、一九七一年

「一〇世紀における庄園の形成と展開―東大寺領板蠅柚を中心に―」

『史林』第五六巻六号、一九七三年

「近江国得珍保野方諸郷における農業生産のあり方」

『赤松俊秀教授退官記念国史論集』京大國史研究室、一九七三年

「一〇・一一世紀における庄園領主権の構造」

『日本史研究』一五〇・一五一合併号、一九七五年

「初期庄園の形成と展開」(上)(下)

『日本史研究』一六四号、一六五号、一九七六年

「延喜庄園整理令と初期庄園」

『史林』第六一卷二号、一九七八年

「8～10世紀の東大寺領阿波国新島庄について」

松岡久人編『内海地域社会の史的研究』マツノ書房、

一九七八年

「八世紀における庄園の形成と展開―東大寺諸庄の場合―」

『徳島大学学芸紀要（社会科学）』二九巻、

一九八〇年

「初期庄園の経営―越前国東大寺領諸庄の場合―」

『史林』第六五卷二号、一九八二年

「越前国足羽郡道守庄の成立と展開」

岸俊男教授退官記念会編『日本政治社会研究・上』

塙書房、一九八四年

「山の世界における大規模所領の展開―一〇世紀の伊賀国

名張盆地を中心に―」

『徳島大学総合科学部創立記念論集』、一九八六年

「古代の大河川下流域における開発と交易の進展―阿波国

新島庄をめぐって―」

『徳島大学総合科学部紀要（人文芸術研究編）』二巻、

一九八九年

「古代から中世にかけての種野山の形成過程」

『徳島県立博物館開設準備調査報告』三号、

一九八九年

「古代における水上交通と庄園のかかわりについて―因幡

国高庭庄を中心に―」

『徳島大学総合科学部紀要（人文芸術編）』六巻、

一九九三年

「低湿地開発の進展と庄園返還運動―九世紀の阿波国新島

庄―」

『徳島大学総合科学部人間社会文化研究』二巻、

一九九五年

「南海道支道と荘園―新島庄勝浦地区の位置をめぐって―」

『徳島大学総合科学部人間社会文化研究』三巻、

一九九六年

「余部郷と平秀・勢豊―篠山盆地における大山庄―」

大山喬平先生退官記念論集『日本社会の史的構造・

古代中世編』思文閣出版、一九九七年

「川と古代地方豪族―阿波国造碑と粟凡直氏―」

東潮編『川と人間―吉野川流域史―』淡水社、

一九九八年

「開発・改修計画図としての庄絵図・新島大豆処・枚方商

地区絵図」

一九九五―九七年科学研究費補助金研究成果報告書

『アルタにおける古代の開発に関する地図的情報の

収集と解析』、一九九八年

「初期庄園と村里刀祢とのかかわりについて―八世紀中・

後期の播磨国赤穂を中心に―」

『徳島大学総合科学部人間社会文化研究』六巻、

一九九九年

書評

〔阿波国名方郡条里の復元について―幕末・明治維新期の  
在村研究者の論にもとづく―〕

【奈良史学】二〇〇号、二〇〇二年

〔中世的郡郷制の成立と展開―阿波国吉野川下流域の場合―〕

【奈良史学】二二一号、二〇〇三年

〔在村国学者・儒学者の阿波古代史研究についての史学史的  
的研究―明治初期の『阿波国風土記』編纂にかかわって―〕

二〇〇二～〇三年科学研究費補助金研究成果報告

書、二〇〇四年

〔近世阿波国学の潮流〕

【史窓】（徳島地方史研究会）三五号、二〇〇五年

〔四国山地における蜂須賀氏入部反対運動〕

【奈良史学】二四号、二〇〇六年

〔幕藩制下阿波における中世山村像の変遷〕

二〇〇五～〇六年度科学研究費研究成果報告書、

二〇〇七年

〔伝承の世界から史実の世界へ―忌部神・阿陽記・南朝文

書―〕

【史窓】（徳島地方史研究会）三八号、二〇〇八年

黒田俊雄著『日本中世封建制論』（東京大学出版会）

【日本史研究】一四七号、一九七四年

戸田芳実編『日本史（2）中世1』（有斐閣）

【歴史学研究】四七三号、一九七九年

畑井弘著『律令・庄園体制と農民の研究―焼畑・林田農業  
と家地経営―』（吉川弘文館）

【社会経済史学】第四九卷一号、一九八三年

藤井一二著『初期庄園史の研究』（塙書房）

【日本史研究】二九九号、一九八七年

徳島地方史研究会編『阿波・歴史と民衆』（教育出版セ

ター）

【史窓】二二号、一九九〇年

徳島地方史研究会編『阿波・歴史と民衆Ⅲ』（教育出版セ

ンター）

【史窓】三二号、二〇〇一年

亀田隆之著『日本古代用水史の研究』（吉川弘文館）

【歴史評論】六月号、二〇〇一年

長岡篤著『日本古代社会と荘園図』（東京堂出版）

『日本歴史』三月号、二〇〇二年

文献解題・報告書・自治体史等

〔新島庄関係文献解題〕

一九九五～九七年科学研究費補助金研究成果報告書

『デルタにおける古代の開発に関する地図的情報の  
収集と解析』、一九九八年

徳島県教育委員会編『徳島県歴史の道調査報告書』第一集

～五集（淡路・伊予・撫養・土佐・讃岐各街道）の

「街道の歴史的変遷・古代」「同・中世」の項、

一九九九～二〇〇〇年

『那賀川町史』（徳島県那賀郡）（古代・中世編の一部）、

二〇〇二年

徳島県教育委員会編『徳島の文化財』二〇〇七年